

I 事業報告

1 事業概要

第五期の指定管理者ならびに財団運営の方向性を示す指針である第3期経営計画の初年度として、公益目的事業の適正な実施による公益の確保を図り、公益財団法人としての地位と役割を果たしました。

文化センターの利用状況においては人員合計で前年比0.6%減、使用料合計で前年比5.1%増、スポーツ施設の利用状況においては人員合計で前年費2.1%増、使用料合計で前年比18.9%増となりました。ただし、依然としてコロナ禍前までの利用水準には達しておらず、引き続き利用者の立場に立ち、活動意欲が向上するよう安全・安心に利用できる施設管理・運営を目指します。(資料1、資料2)

芸術文化振興事業ホール等事業では、鹿沼市民文化センター開館40周年を記念した「中村雅俊コンサート」や「爆笑!お笑いライブ in かぬま」、映画会、オペラコンサートや、市民と一緒に作り上げる「オーケストラフェスティバル」や「市民歌の集い」など、幅広いジャンルの催し物を開催しました。

科学館事業ではプラネタリウム投映や、月や土星、季節の星座や天文現象を観察する「ほしぞらのさんぽ」などを開催したほか、プラネタリウム施設の一般貸出しを行い、シンガーソングライターとピアニストによるコンサートや、朗読家による星座解説イベントなどで利用されました。鹿沼市民文化センタープラネタリウム施設は、栃木県内にある数少ないプラネタリウム施設2か所のうちの1か所であるため、その存在価値を再認識し、施設の有効利用と科学館事業の普及に務めます。

市民文化センター友の会への後援事業では、アマチュア落語家を迎えた「社会人落語特選会」や友の会会員による「会員美術展」、総合工芸部会会員による展示や実演の「総合工芸部会展」等の開催に協力し、来場者から大変好評を博しました。

その他、「市民美術展」、「市民書初展」の受託事業を開催するとともに、鹿沼市教育委員会文化課と共催した「鹿沼屋台囃子体験教室」や「奈佐原文楽体験教室」、「絵画ワークショップ」なども開催しました。(資料3)

スポーツ振興事業では、「するスポーツ」として多世代を対象にした各種スポーツ教室やカウンセリング、全国各地より参加者が集う「平野早矢香杯卓球大会」や「鹿沼市ジュニアゴルフ大会」などのスポーツイベントを開催しました。「みるスポーツ」では恒例イベントの「BC リーグ 栃木ゴールデンブレブスホームゲーム」や、今回で幕を下ろした「城山杯争奪東日本卓球大会」開催に協力しました。さらに総合型を含む地域スポーツクラブ育成・支援、レッスン動画の配信、他にも鹿沼市スポーツ協会事務受託、鹿沼さつきマラソン大会記録処理業務受託など、多彩な事業を実施しました。(資料4)

今後も公益財団法人として公益性を発揮し、財団経営計画を基に、鹿沼市総合計画・教育ビジョンとの連携を図りながら、引き続き指定管理者として市民の期待に応えられるよう一層努力してまいります。